



(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会

2025 年 10 月 1 日

神奈川支部

〒231-0026 横浜市中区寿町 1-4

かながわ労働プラザ 7F

Tel・Fax 045-633-3618

支部ニュース

日本労働安全衛生コンサルタント会は、
労働者の安全衛生水準の向上に寄与することを目的にしています。

発行責任者
赤松 由通

目	○ 支部長挨拶 P 1	○ 支部定期総会報告 P 2	○ 総務委員会報告 P 5	○ 事業部会報告 P 7
	○ 研修委員会報告 P 8	○ 見学会報告 P 9	○ 各地区活動報告 P 11	○ 労働衛生研究会 P 14
次	○ 化局研究会 P 15	○ 表彰者の紹介 P 16		○ 編集後記 P 16

【赤松支部長挨拶】

前年の支部総会で支部長に選出され、1年を経過しました。

会員各位にご協力頂き、感謝申し上げます。

1. 8月までの主な活動

(1) 神奈川労働局主催の安全衛生特別指定事業場への説明会 (4/3、4/4)

参加企業 34 社で、支部幹部4名が参加し、説明会後の質疑に対して個別に対応しました。コンサルタントによる支援要望は 10 件を超える依頼があり原則2名体制で現在対応しています。来年の春には、全ての指定事業場が指定解除に繋がるように、関係者の活動に期待しています。

(2) 支部総会 (6/13 開催、詳細は次項に記載)

例年通り神奈川労働局労働基準部長他2名他来賓をお迎えして特別講演を行い、総会議案書に従い承認・確認を頂き、滞りなく終了しました。総会後の情報交換会では参加者の積極的な会話により、大いに盛り上がりました。

(3) 支部長会議、本部定時総会 (6/23)

東京 KKR ホテルで開催され、47 支部中 35 支部が対面で出席、11 支部が WEB にて参加、欠席は1支部でした。本部定時総会時において、本部表彰式があり、前支部長の吉久 功三先生が表彰されました。おめでとうございます。

2. 令和7年度の後半の主な活動

(1) 『支部設立 50 周年記念式典』を 10 月 17 日に開催致します。

神奈川支部一般会員 176 名に招待状を7月末に発送しています。会員の皆様におかれましてはスケジュールを調整し、参加をお願いいたします。スケジュール調整が出来た方は出欠の葉書を神奈川支部まで返送して下さい。

(2) 神奈川労働局主催の小売業、介護施設 safe 協議会会議

本協議会に令和6年 11 月よりコンサルタント会として参加しています。情報収集を行い、今後の支部活動に反映したいと考えています。



(3) 本会機関誌の労働局・各監督署への無料配布

本部の方針として連絡があり、前号(No154)の機関誌から無料配布が始まっています。前号は神奈川労働局・12 監督署へ趣旨説明を行うため各地区の担当者等から手渡しで配布しました。今号(155 号)からは、神奈川労働局安全課から各署へ配布して頂くように依頼しました。局・監督署等への訪問時に機関誌についての質問があれば、赤松まで連絡をお願いします。(赤松:JZA01167@nifty.com)

(4) 令和8年度は、支部役員改選年度となります。改選案内が用意出来次第、皆様へ郵送しますので、その節はよろしく対応願います。

【令和 7 年神奈川支部的総会ワークピア横浜で開催】

支部定期総会開催報告

《事業部会会員 山下和雄》

神奈川支部定期総会が、令和7年6月13日(金)15時20分～16時50分、「ワークピア横浜」で開催されました。開催に先立ち、森事務局長より、支部規定第8条第5項(正会員の3分の1以上で成立)に対して、会場参加者43名、委任状69名、議決権行使11名の合計123名で、正会員179名の3分の1(59名)以上となり、総会が成立したことが報告されました。総会は、大塚常任幹事の司会で始まり、赤松支部長の挨拶、来賓紹介、来賓の祝辞に引き続いて審議に入りました。

【赤松支部長の挨拶】

皆様、先ほどの特別講演に引き続きまして、これから令和7年度神奈川支部総会を開催するにあたり、一言ご挨拶させていただきます。令和7年度につきましては、神奈川労働局長様、各監督署様のご配慮をいただき安特衛特の説明会の結果、神奈川県所在の13～14カ所の事業場とコンサルタント2名体制で対応させていただいています。公募案件につきましても、4月だけで十数件の相談があり、その都度、事業部長を筆頭に対応しているところでございます。まだまだ令和7年度は始まったばかりですので、労働局様のご期待に添うべく我々も日々の研鑽を図って、神奈川労働局管内における事業場の労働災害が1件でも2件でも減る等成果が出るようにしていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



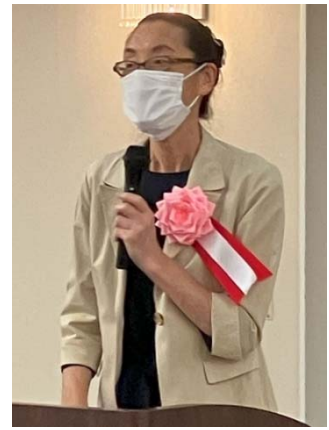
【ご来賓の皆様(写真右より)】

神奈川労働局労働基準部長 荒木治美様
 同局労働基準部安全課主任安全専門官 田代克也様
 同局労働基準部健康課長 柴田英彦様
 産業保健総合支援センター副所長 高橋明裕様
 労務安全衛生協会専務理事 古谷強様
 作業環境測定協会神奈川支部事務局長 芦田敏文様

【祝辞:神奈川労働局労働基準部長 荒木 治美 様】

当労働局では、労働災害防止のため、令和5年度から「神奈川計画」を進めています。ここでは、災害が多い、転倒・腰痛などの行動災害に関するものの対策、そして、高齢者や外国人の方々への対策、業種的に災害が多い、陸上貨物運送業、建設業、製造業など業種を絞った対策、そして、健康確保の対策、化学物質などによる健康障害防止の対策、これらを計画の柱に据えて、私どもは行政を展開しているところでございます。

これからの時期は熱中症対策が重要です。6月1日から熱中症対策が強化されております。事業者への罰則をもって対策の強化をお願いしているところです。神奈川県では3年間毎年熱中症による死亡者が発生しています。今年は「クールワークかながわ死亡災害ゼロ」を掲げ、皆様のご協力のもと、熱中症による死亡災害ゼロを目指します。引き続き、リスクアセスメントの具体的な取り組みや労働安全衛生マネジメントシステムの構築など、事業者の自主的な取り組み推進に力強いご指導をお願いいたします。



【祝辞:神奈川県産業保健総合支援センター 副所長 高橋 明裕 様】

本日は、神奈川支部定期総会にお招きいただき、誠にありがとうございます。神奈川支部は、事業場の安全衛生管理に関する助言・指導を通じて、安全意識向上に大きく貢献されています。当センターでは、神奈川支部のご協力により、労働衛生工学相談員の派遣をはじめ、研修講師や事業場からの相談対応など、多岐にわたる連携を図っております。



特に、令和6年度から開始した化学物質の個別訪問支援では、事業場訪問だけでなく、メールや電話での相談対応、認定産業医研修会、産業保健セミナーなど、多大なご支援をいただいておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。今年度も引き続き、先生方のご支援とご協力を賜り、神奈川県内の事業場や労働者の健康管理、健康意識の向上にご尽力いただけますようお願い申し上げます。日本労働安全衛生コンサルタント会神奈川支部と会員の皆様のさらなるご発展とご多幸を心よりお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

【祝辞:神奈川労務安全衛生協会 専務理事 古谷 強 様】

コンサルタントの先生方には、日頃より神奈川の労働安全衛生水準向上にご尽力いただいております、深く敬意を表します。また、当協会の活動への多大なご協力にも重ねて御礼申し上げます。

今年は第14次災害防止計画の中間年ということですが、昨年も非常に死亡災害が多かったということ、特にクレーン災害、感電災害が多かったということで、緊急要請が出されました。今年も状況は厳しく、死亡災害撲滅のため、「災害ゼロ、死亡災害ゼロ」を最大の目標として、先生方のご協力のもと会員への周知と対策を強化したいと考えています。協会のアンケート結果では、会員は法令改正情報や他事業場の安全確保事例、安全管理者・衛生管理者の業務内容への関心が高いことが分かっています。セミナー等で情報を提供していますが、引き続きコンサルタントの皆様のご協力が不可欠です。特に、昨年義務化された化学物質管理者の選任に関しては多くの問い合わせがあり、先生方に講師をお願いして対応いたしました。神奈川県内では化学物質のリスクアセスメントに関心が高い事業所が多い一方で、対応が遅れているところもあり、今後も連携して掘り起こしに取り組んでいきたいと考えております。化学物質管理においては、将来的には有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質障害予防規則がなくなる可能性も示されており、法改正の動向を注視し、先生方と情報共有・相談しながら対応を進めてまいります。



【定期総会審議概要】

第一号議案(令和6年度事業報告に関する件)及び第二号議案(令和6年度収支決算に関する件)の審議が行われ、参加者全員の挙手、議決権行使者全員の賛成により承認されました。次に、(令和7年度事業計画に関する件)並びに(令和7年度収支予算に関する件)については議案書に基づいた説明があり、全員賛成により承認されました。(令和7年度事業計画に関する件)において、事業部会では、安全衛生特別管理指導事業場への取り組みとして、合同説明会での講師依頼に対応し、アンケートで支援希望のあった事業場に対し、安全衛生水準向上と指定解除に向けた支援を行います。

【総会の主な質疑】

総会全体の報告、説明に関して、次の質疑並びに回答が行われました。

(質問1) ・今年度の安特衛特のコンサルタント支援案件について 赤松支部長のご挨拶の中で、今年の安特衛特は10 数件あったと伺ったのですが、今年の安特衛特の状況をもう少し詳しく教えていただけたら助かります。 (質問1の回答) 回答の前に、本年4月3、4日に開催されました神奈川労働局主催の安全衛生管理指導説明会で、労働安全・労働衛生コンサルタントの活用を推奨していただき、また説明の機会もいただき、神奈川労働局様には深く感謝いたします。このお陰だと思っておりますが、今年度の安特衛特案件の受注状況等は例年になく好調です。 説明会当日は16 件を超える相談があり、そのうち13～14 件が具体的な受託につながりました。これは過去 10 年で最も多かった令和元年、2年の7 件を大きく上回る成果です。 神奈川支部では、経験豊富なコンサルタントと2 人体制で対応し、安全診断等を通じて新たな課題が見つかった場合は、情報共有や他のコンサルタントへの相談を行い、万全の体制でコンサルティングを実施しています。 今後も事業部会で活動状況を共有し、コンサルタントのレベルアップを図り、支援対応能力の向上に努めてまいります。	(質問2) ・支部研修会の開催状況について 研修会について、神奈川支部では年間 6 回やってもらって、非常に助かってるのですが、他の地区ではどれぐらいやってるのでしょうか。その辺を聞いてみたいです。 (質問2の回答) 私は本部の役員を5年、今年度は監事をさせていただいており、一応 47 都道府県の支部の状況等もある程度把握できるようになってきておりますので、ちょうどいいご質問だったと思います。 本部の5月の理事会で、研修会の重要性が議論されました。研鑽を深め、情報共有を促進する上で、各地区支部の研修会を充実させるべきという意見が多く出ました。しかし、実情として研修会の実施実績は乏しく、全く開催していない支部も少なくありません。 このような状況の中で、神奈川支部のように充実した研修会を開催している支部は稀有な存在のようです。南関東や東京の支部では年間2～3回程度の研修会しか開催されていませんが、神奈川支部は年6回開催しており、その内容も濃いものと考えています。 特に、研修会と併せて開催される情報交換会が非常に活発で、参加者間の交流や知識共有に役立っており、充実したものになっています。 研修委員長の立場から、今後も皆様の研修会への積極的な参加と協力をお願いいたします。
--	---

総会開催前の特別講演会

令和7年6月13日(金)恒例となっておりました神奈川労働局による特別講演が、定期総会に先駆けて開催されました。講師は神奈川労働局労働基準部安全課主任安全専門官の田代克也様ならびに健康課長の柴田英彦様のお二人にお願いしました。

特別講演は最初に田代主任安全専門官様より「令和7年度の労働安全行政について」、次に柴田健康課長様からは、「令和7年度の労働安全衛生行政について」講演を頂きました。



田代主任専門官様



柴田健康課長様

情報交換会の開催

【情報交換会】

支部総会と同じフロアの会場で、黒川孝幹事の司会で情報交換会が開催されました。赤松支部長の挨拶に始まり、来賓の神奈川労働局労働基準部の柴田健康課長様の挨拶、神奈川労務安全衛生協会の古谷専務理事様の乾杯挨拶を頂きました。各テーブルで移動しながら情報交換が行われ、大谷幹事の挨拶で中締めとなりました。



【総務委員会報告】

《副支部長・総務委員長 藤原政志》

《計画に基づき実施できたこと》

令和6年度は、南関東ブロック会議の幹事支部としての活動もあり例年に増して支部活動も活性化しました。総務委員会として行っている主な活動を紹介します。

(1) 常任幹事会、幹事会

年度初めの計画に基づき、神奈川支部の活性化を主な活動テーマとして、常任幹事会を7回、幹事会を4回滞りなく実施しました。

(2) 地区別担当者

①県内12の労働基準監督署を川崎地区(川崎南、川崎北、鶴見)、横浜地区(横浜南、横浜北、横浜西)、県央地区(小田原、厚木、相模原)、湘南地区(藤沢、平塚、横須賀)の4つのブロックに分け、

リーダーとサブリーダーを決めて既に構築し運用している労働基準監督署との適切な関係の継続を図っています。昨年末に事業部に入会された6名のコンサルタントに関しては、基本的には住居地に近いブロックのメンバーにしたいと考えましたが、退部者3名もあり各ブロックの人数バランスを考慮して決めました。

②労働基準監督署主催の関係団体会議は凡そ3カ月ごとに開催されています。参加者は、議事内容等をまとめ監督署及び関係団体の情報を発信します。現在、横浜北署、藤沢署、平塚署、厚木署、川崎南署の5団体へ参加しています。

《今年度の活動計画》

昨年末から具体的に準備してきた支部設立 50 周年記念式典、コンサルタント会の活動を広く知ってもらうためのホームページ運営チームの活動、定常的な活動等多岐に渡っていますが、行事関係者の協力を得て当初の目的を達成するように推進しています。

(1) 常任幹事会、幹事会

令和7年度支部定期総会後の支部活動の要となる常任幹事会、幹事会日程を表-1に示します。

表-1

年月日	常任幹事会	幹事会	備考
令和7年6月13日(金)	令和7年度支部定期総会		
7月 5日(土)	第1回常任幹事会		
7月26日(土)	第1回幹事会		
9月 6日(土)	第2回常任幹事会・第2回幹事会合同会議		午後研修会
10月4日(土)	第3回常任幹事会		午後研修会
12月13日(土)	第4回常任幹事会		午後研修会
令和8年1月10日(土)	第5回常任幹事会・第3回幹事会合同会議		午後研修会
3月 7日(土)	第6回常任幹事会		午後研修会
4月11日(土)	第7回常任幹事会・第4回幹事会合同会議		午後研修会
6月12日(金)	令和8年度支部定期総会		

(2) ホームページ運営チーム活動

ホームページへの掲示内容(コンテンツ)をタイムリーに更新する更新作業の効率化、迅速化、確実性の向上などを目指して、更新作業のアクションリストを作成し、幹事会で承認を得ました。今後は、本リストに基づき活動します。

(3) 広報に関すること。

①支部ニュースは、水上リーダーと大塚常任幹事、編集委員に久富幹事、黒川亮氏を加え10月発行の準備をしています。

②外部寄稿は、(公益社団法人)神奈川労務安全衛生協会に「災害一口メモ」と称する労働災害防止のワンポイントレッスン記事を毎月提供しています。執筆者は小林安全コンサルタントが7月分から12月まで担当します。

(4) 支部設立 50 周年記念式典

昨年末にキックオフし、赤松支部長をリーダーとして式典実行グループ、記念誌作成グループで役割分担し、本年 10 月 17 日(金)開催に向け準備しています。式典終了後は情報交換の場として、懇親会を設けています。

【事業部会報告】

《副支部長・事業部会長 竹内春樹》

各位におかれましては、神奈川支部及び事業部活動に日々ご協力をいただき感謝申し上げます。
令和7年度の事業部活動等について報告します。

《事業部会員》

事業部会員は、昨年労働安全コンサルタント3名、労働衛生コンサルタント2名、労働安全・衛生コンサルタント(共有)1名の計6名の入部があり、計 47 名で活動しています。

《安全・衛生管理特別指導事業場案件について》

神奈川労働局主催で令和6年4月4日(木)、5日(金)に安全・衛生管理特別指導事業場説明会が開催されました。説明会の最後にコンサルタント会神奈川支部として安全・衛生管理に係る改善方法や支援について説明し、説明会終了後に個別の質疑応答も行いました。その後、相談依頼のあった事業場に対し、原則2名体制で対応し、新規 12 事業場、継続4事業場の計 16 事業場の契約となりました。(因みに、安特は 14 事業場、衛特は2事業場。)

契約事業場の業種は、製造業(5事業場)、陸上貨物取扱業(2事業場)、道路貨物運送業(1事業場)、接待娯楽業(3事業場)、社会福祉施設(1事業場)及び通信業(4事業場)です。

《公募案件について》

6月末日末現在で依頼があり公募した案件は、表-1に示すように 12 件でした。
(因みに、昨年度同月末時点では、5件。)

表-1 公募案件

No	業種等	依頼内容	件数
1	製造業(主な製品等、依頼内容)		8
	機械器具製造	安全衛生の診断・指導	
	電気機器製造	作業環境の改善・指導	
	食料品製造	安全衛生の診断・指導	
	自動車製造	新職長に対する安全教育	
	自動車製造	安全講演	
	自動車製造	安全講演	
	機械器具製造	安全講演	
	電子機器製造	安全講演	
2	建設業	工事安全衛生関係書類に関する指導	1
3	行政機関	工事安全衛生関係書類の確認、現場巡視	1
4	行政機関	安全講演	1
5	地方公務員協会	安全講演	1

合 計 12

No	指名公募		件数
			0

今年の依頼者からのご要望の傾向として、現状の問題・課題を踏まえた改善指導や講演をして欲しいという依頼が増えていることが挙げられます。また、講演では具体的で分かり易く説明してもらえる方を希望されることも多くありました。ついては、事業部会の皆様におかれましては、今後も自己研鑽や神奈川支部での研修会への積極的参加等をしてコンサルタント能力をより高めていただき、公募があった際は積極的に応募して下さるようお願いいたします。また、業務を委託された方は、都度依頼者とのコミュニケーションを図り、その業務を遂行するようお願いいたします。

《受託事業について》

受託事業では、コンサルタント会本部が厚労省から受託している受動喫煙防止対策に係る個別相談業務、実施指導及び講師派遣業務があります。

【研修委員会報告】

《副支部長・研修委員長 田村 紀裕》

2025 年度(令和7年度)も引き続き研修委員長を務めます田村紀裕です。研修委員会メンバーとして、支部活動の伝承と活性化を図るため、亀ヶ谷勲常任幹事、水上隆男幹事、矢島聡会員に、新たに寺山翔会員を加えた5名体制で推進してまいります。

①支部研修会

1) 2024 年度(令和6年度)の支部研修会活動状況

令和6年度の支部研修会は、従来と同様の年間6回、土曜日午後の開催とし、できるだけ出席者のコミュニケーションを図るために、全てかながわ労働プラザ会議室での対面方式として開催しました。また研修内容については、支部会員や事業部会員のコンサルタント経験の少ない方が増加していることを踏まえ、数多い法改正(例えば化学物質等)への対応やコンサルタントとしての意識や専門性の強化につながる活動事例などを研修テーマとして取り上げました。実施状況は、研修会参加者は 40 名を超える時もあり、毎回多くの質問が出る等活況に推移しました。また、研修会後の情報交換会も、毎回多くの参加者があり当日の講師を交え盛況で有意義なものとなりました。

なお支部研修会等詳細は、令和7年度支部定期総会議案書に掲載しておりますので、参照ください。

2) 2025 年度(令和7年度)の支部研修会計画について

今年度の支部研修会は、すべて対面形式で開催する事とし、支部常任幹事会や幹事会の日程に合わせ、全6回開催で計画しています。内容構成は、新入事業部会員の紹介、労働安全・衛生コンサルタントとして活動するために役立つ講演、また化学物質管理等の旬なテーマを企画・提供する予定です。

当支部の研修会は、全国都道府県支部の中でも屈指の実施回数を誇り、内容も多岐にわたり支部会員への研鑽支援に繋がっていると自負しており、会員各位の関心をもった参画をお願いいたします。

刷新されたメンバーの新たな視点や進め方なども盛り込みながら、会員各位の専門性研鑽の一助になるよう努力してまいります。

②新入支部会員への支部ガイダンス

令和6年度は、9月 21 日に新入会員向けに支部及び事業部の活動状況についてガイダンスを実施し

ました。令和7年度は9月6日に計画しました。

③新入事業部会員教育

令和6年度は 12 月7日に 支部事業部入部者向けに事業部の活動状況やコンサルタントとしての必要事項を教育しました。令和7年度は 10 月4日に計画しております。

④施設見学会

令和6年度は、コロナ禍を乗り越え見学を再開する企業が増えてきたことを機会ととらえ、令和7年3月10 日に、JR東日本東京総合車両センターで実施しました。大変有意義かつ盛況な見学会となりました。令和7年度もすでに候補地を決定し計画中です。

⑤研究会活動

研究会として、「労働衛生研究会」と「化局(化学物質・局所排気装置)研究会」が、いずれも専門知識の研鑽と相互協力により大変熱心な活動を展開しています。新たな研究会活動のご提案もお待ちしております。

※支部会員の皆様におかれましては、今後聞きたい研修テーマや見学したい施設等ございましたら、有益な情報と共に研修委員会にご連絡くださるようお願いいたします。

【JR 東日本東京総合車両センターの見学会報告】

《事業部会会員 矢島 聡、寺山 翔》

日 時	2025/3/10 13:30 - 16:05
場 所	JR 東日本東京総合車両センター
出席者	田村、竹内、赤松、秋谷、大塚、黒川、森山、渡辺、山下、寺山、内沼、村上、前山、久富、矢島 計 15名(敬称略)
目 的	神奈川支部施設見学会
配布資料	事業場案内パンフ、クリアファイル



参加者の集合写真

東京研修センター(以下、TK)の概要

TK では、首都圏を走行する電車の検修(自動車の車検、80 万キロごと)及び山手線車両の整備管理を受け持っている。従業員数は 1100 名。敷地は山手線関係を受け持つ「東エリア」、首都圏走行電車のメンテナンス関係を受け持つ「西エリア」に分かれる。今回は「西エリア」を見学した。

TK における安全衛生の概要

JR東日本では、「究極の安全」を掲げて様々な取り組みを行っている。事故の推移は、現状どうしてもゼロにはできておらず、2024年度目標としては、死亡事故ゼロ、死傷災害1件以下を掲げている。最近では、車体が鋼製からステンレス製に代わってきたり、窓ガラスの固定化が進んできている。また、熱中症も出だしてきた。9月にはメンタルヘルス支援、化学物質管理を重点的に実施した。所内では、CS (Challenge Safety;安全への挑戦)をスローガンとして、従業員の安全、顧客(乗客)の安全の側面から各種活動を展開している。所内安全パトロールを各科で毎月1回、また2～3か月ごとに所全体パトロールを実施している。「マイハット」という名称でヒヤリ・ハットシートを提出、リスクアセスメントの材料として用いて、情報共有も展開している。安全意識向上への取り組みとして、「安全体感道場」を 2015年 9月から開設、またVR 技術を用いた危険体感システムを 2017年4月から実施している。「安全の日」を毎月1日、15日に設定して、(啓発)ワッペンを着用、安全塔の無災害記録の更新、安全祈願を実施している。衛生面では、健康診断、特殊検診、医学適性検査、及び心の健康づくりを実施しているほか、該当場所には作業環境測定も実施している。法令順守のスコープとして、安衛法及び社内規定をあげている。

所内見学

- 1) 山手線電車のメンテナンス現場:工具は主として個人使用の者も含めて全て工具ボード上に保管し、所在を「見える化」している。続いて台車交換場所、2F架台での車体屋根作業場所を視察したが、アントけん引で車両が移動するので急遽1Fに退避、車両の移動を間近に見ることができた。
- 2) 車体上げ下ろし場、車体外板塗装場の視察、最近の車体はステンレス製が多く、外板塗装自体は減っている(車体側面のラインはテープ)が、屋根は絶縁体、前面部は塗装を施している。その後 PCA(パンタグラフ、クーラー、気吹き)作業場を視察。

安全体感道場での体験視察

- 1) 種類豊富な保護手袋の実物を展示して、保護目的を学ぶ。例として耐切創手袋は、「切れにくい手袋であって切れないのではない」と説明している。
- 2) 薬傷の実験(フタル酸シンナー)に発泡スチロール片をいれて溶解する様子を観察できる。廃液は専用の廃液だめに廃棄しているとのこと。
- 3) 部品重量の体感では、感覚で軽いもの順に部品を並べるが、物体の大きさや色での錯覚により重量感の勘違いが生まれることを体感できる。(白色は軽いと捉えてしまう)
- 4) ボール盤への軍手巻き込まれの実演、一瞬で巻き込まれる視覚的危機感を醸成。
- 5) 乗務員室扉の窓のばね動力機構を学び、挟まれ災害を防止する展示物。
メカニズムを理解することによる作業手順遵守の重要性を啓発。
- 6) 保護帽装着による非痛性のデモ。(1mの高さから、20gの小型スパナを落下させ衝撃を体感、衝撃は大きくないが、衝撃音による焦りを体感できる)
- 7) 手回し発電機による感電体感。手指の湿潤性が低いと、感電の実感はないが、夏場のほうが

効果を感じれそうだ。

8) 古い、不良工具を用いた事故を紹介。作業前後の工具点検の必要性を啓発。



質疑応答の様子

質疑応答

(秋谷) 多種多様な保護具があるが、その管理はどのようにしているのか？また、コミュニケーションはどのようにとっているか？⇒社員と会社とで会議を設けて、提案を受け付けている。最近では、10年前から使用している溶接のための耐火服が暑くて熱中症にかかるリスクを訴えて、最近良い製品（通気性に優れ、かつ難燃性の素材）を見つけて着用させている。社員には着用時の「好み」「適合性」が様々であるので、数種類の製品を用意して適合性を確認するようにしている。

(竹内) 「新保全体系」と「モニタリング保全体系」は何が異なるのか？⇒山手線などで使用しているE235系では自己診断機能があり、これをモニタリングしているのでこのような名称としている。

(赤松) 1100名の従業員がいるが、安全朝礼など連絡体系はどうしているか？⇒所全体及び各科それぞれで連絡体制を実施している。勤務は2名組で 24時間制（途中休憩あり）となっている。

(山下) なぜ「〇〇科」なのか？通常は「〇〇課」だと思うが？⇒昔からの慣習。

(田村) 資格取得のための教育研修はどのようにしているのか？⇒外部で実施している。

(森山) マニュアル整備、手順書などは誰が作成するのか、またその方法は？⇒各科で作成し、技術科でとりまとめている。作成は「作業整備標準」に基づき、想定される非定常作業の手順や臨時的な非定常作業も含まれる。技術継承は、最近ベテラン社員によるOJTの方法として動画などで説明できるようにしている。

【各地区活動報告】

【川崎地区】

《リーダー 加藤孝夫、サブ 寺山 翔》

川崎地区担当としては、鶴見労働基準監督署（横浜市鶴見区）、川崎南労働基準監督署（川崎市川崎区、幸区）、川崎北労働基準監督署（川崎市中原区、宮前区、高津区、多摩区、麻生区）の3労働基準監督署を中心に神奈川労務安全衛生協会各支部の皆様と連携を図りながら、川崎地区の労働安全衛生コンサルタント活動の推進に努めております。

各監督署管内において開催される「行政方針説明会」「全国安全週間推進大会」「全国衛生週間推進大会」等への出席と事前準備へのご支援を行うとともに川崎南労働基準監督署関係団体連絡会議への出席により、労働基準監督署との連携を強化し、地区の安全衛生活動の推進に努めております。

令和7年度につきましても、地区事業部会メンバーにて分担の上、「行政方針説明会」「全国安全週間推進大会」への準備のご協力を行うとともに、各地区の監督署幹部の皆様との情報交換により、各地区での喫緊の課題等について認識の共有化を図っております。

川崎南労働基準監督署関係団体連絡会議については、リーダーとサブリーダーにて出席し、労働基準監督署からの最新の行政情報を入手するとともに、コンサルタント会神奈川支部の活動状況を紹介することで、コンサルタント活用促進への一助となるべく注力しております。

9月に実施予定の全国安全衛生委員会推進大会でのご協力をはじめとして、コンサルタント会神奈川支部と地域の皆様との結びつきを深め、安全で健康な職場づくりに貢献できるよう、微力ながら尽力してまいります。皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【湘南地区】 《リーダー 黒川 孝、サブ 大谷忠治》

昨年度に引き続き、湘南地区のリーダーを務めさせて頂くことになりました、黒川孝です。同じく昨年度に引き続きサブリーダーを務めて頂きます大谷忠治会員（幹事）のご支援・ご指導を頂きながら会務を推進してまいりますので、皆様、よろしくお願い致します。

さて、湘南地区は、具体的には「藤沢署」、「平塚署」及び「横須賀署」の3ヶ所の労働基準監督署及びその管轄地域の関係団体との連携、情報収集等が担当となります。このうち、「藤沢署」と「平塚署」の2ヶ所につきましては、監督署主催の関係団体連絡会議に弊社からも出席させて頂いているため、各署の関係団体連絡会議の出席担当者である大谷忠治会員（藤沢署）及び矢島聡会員（平塚署）に各監督署及びその管轄地域の関係団体との窓口を昨年度に引き続き務めて頂き、支部及び湘南地区の担当者との間で連携をとりながら活動を進めてまいります。また、関係団体連絡会議に弊社からは出席させて頂いておりません「横須賀署」につきましても、昨年度に引き続き内沼創一朗会員（常任幹事）に情報収集等の窓口をお願いし、支部及び湘南地区の担当者との間で連携をとりながら活動を進めてまいります。

なお、湘南地区は、総勢 12 名の全担当者が昨年度と同じメンバーとなります。具体的には上記4名の他に、藤沢署を中心に活動されておいでの赤松由通会員（支部長）、秋谷泰男会員（支部監事）、萩野公彦会員、鶴田光会員及び中村幸男会員、平塚署を中心に活動されておいでの矢崎麻純会員（常任幹事）並びに横須賀署を中心に活動されておいでの佐藤保夫会員及び白須吉男会員の8名となります。

今年度も湘南地区として有効な情報収集並びに弊会のPR等が行えるよう、関係団体連絡会議の出席担当者の方々等との連携を密に、また、担当者各位の力が発揮、集結できるよう担当者間の相互認識、円滑な情報交換に配慮して活動してまいりますので、引き続き、湘南地区活動へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。また、事業部会未入会の会員の皆様の事業部会への入会をお待ちしております！

【県央地区】 《リーダー 樋口 学、サブ 久富美紀子》

この4月に前任の萩田リーダーから引き継ぎました樋口です。担当してからの日が浅く、業務の都合から担当監督署の方々に未だにご挨拶できていないことをお詫び申し上げます。

さて、コンサルタント活動3年目の駆け出しの私ですが、経験者の久富コンサルタントをサブリーダーとし、担当コンサルタントとしては総員 11 名の体制で進めていきます。

県央地区の労働基準監督署は、厚木、相模原、小田原の3署です。神奈川県内の事業所等団体の数も多い地区ですが、昨年令和6年度の死傷者数は横浜地区に次いでおり、死者数も多いため、関係者の皆様が対応に努力されている地区です。今年度は上記3労働基準監督署を中心に神奈川労務安全衛生協会各支部の皆様とも連携を図りながら、労働安全衛生コンサルタントとしての活動を進めてまいります。

具体的な活動として、以下を進めております。

- ① 厚木労働基準監督署における関係団体連絡会議への参加
(コンサルタント会による情報発信及び労働基準監督署他関係団体からの情報収集:年4回)
- ② 神奈川労務安全衛生協会:県央地区支部主催の全国安全週間推進大会(6月:県央地区の各会場に参加)及び全国労働衛生週間推進大会(9月)への参加、リーフレット配布によるコンサルタントの紹介
- ③ 年始及び人事異動時期のご挨拶
- ④ 安全及び衛生管理特別指導事業場に関する情報の入手等

労働基準監督署及び関係団体との良好な関係を継続し、コンサルタント活動を推進していきますので、よろしくお願いいたします。

【横浜地区】 《リーダー 亀ヶ谷勲、サブ 菊西延至》

横浜地区での活動は、次のとおりです。

- ①横浜北労働基準監督署における労働基準関係団体連絡会議への参加による情報発信及び労働基準監督署他関係団体からの情報収集(年4回)
第1回:4月 22 日(大塚会員参加)
第2回:7月 23 日(不参加)
第3回:10 月予定、第4回:1月予定
- ②公益社団法人神奈川労務安全衛生協会横浜南支部・横浜北支部・横浜西支部主催の6月全国安全週間推進大会及び9月全国労働衛生週間推進大会への参加及び無料相談コーナーの開設
○全国安全週間推進大会
横浜南地区:6月4日(山下会員・黒川会員参加、無料相談コーナー開設)
横浜北地区:6月10日(大塚会員・小林会員参加、無料相談コーナー開設)
横浜西地区:6月4日(大塚会員・前山会員参加、無料相談コーナー開設)
○全国労働衛生週間推進大会
横浜南地区:9月3日(山下会員参加、無料相談コーナー開設)
横浜北地区:9月3日(黒川会員参加、無料相談コーナー開設)
横浜西地区:9月4日(大塚会員・小林会員参加、無料相談コーナー開設)
- ③横浜南労働基準監督署・横浜北労働基準監督署・横浜西労働基準監督署への挨拶
○全国安全週間推進大会及び全国労働衛生週間推進大会にコンサルタント会も参加する旨を、開催の前月下旬に、参加会員が各署長・安全衛生課長に挨拶を行っています。

【労働衛生研究会活動報告】

《業部会会員 久富美紀子》

労働衛生研究会の歴史と今

労働衛生研究会はいつ始まったのか 秋谷先生に聞く。初回は 2009 年8月に開催され、宮内氏、秋谷氏の発表、6名の参加で始まった。目的は労働衛生に関する情報交換を通じての相互啓発と知識向上、引いてはコンサルタント業務のレベルアップとある。

現在の労働衛生研究会は目的にかなっているか。7月の秋谷先生の熱中症資料は、熱中症で死者は出さない！ 渾身のチェック表や1枚であらゆる場面での処置が記載されたフロー、イラストはないが、この 1 枚の掲示で迷うことはない。許可を得て担当先へ広報した。効果はすぐに報告された。気温が更に上昇した日の介護施設の浴室、介助していた職員が熱中症になった。温湿度、WBGT 値いつもより2℃上昇、不調を訴えた自覚・他覚症状と、体温、血圧値、脈拍もバッチリ記載。(パルスオキシメーター設置) 手に取るように状況が見える。職員は休憩だけで回復し、以降浴室 WBGT 値 24℃以上はその施設の警報値で、20 分毎に職員交代が決定した。

7月7日のテーマである熱中症の研究会(発表後の討論)の実況中継です。「自覚他覚症状は数値で示せば更に信頼性向上」(秋)、「バイタルサインなら専門家は即時状況がわかる」「救命士への質問状で裏付けした」(秋)さすがー！「コロナで使用したパルスオキシメーター、熱中症用にセットすれば使える」「脈拍もアップされるし」「熱中症は末端へ O2送るのに脈は早くなる」「作業場の WBGT 値測定 11 時と 14 時、終業前の測定必要では？」「この時間に元気のない人すべて病院へ送れって社長に言っている」「帰宅後の急変はあるし、帰宅後の報告やチェック必要。朝亡くなってることも」「ポカリ 甘すぎる！カロリー高いし水でよくない？」「水だけ NG！」「汗でミネラル分相当失う」「順化前の人の汗はベタベタ！ミネラル全開で排出するから。順化の人の汗サラサラ 舐めてもしょっぱくもない」そうか！以上、労衛研からの中継でした。

労働衛生研究会 毎月基本第1月曜日 20:00～21:00(30 分発表後 30 分討論)Zoom で開催

8月1月は休会

労働衛生研究会開催記録

開催日	発表者	発表テーマ	出席人数
2024 年9月2日	藤原	「育成就労制度の概要」とこの制度を活用するため企業に求められる対応	5
10 月 7 日	矢崎	騒音ガイドライン	6
11 月 4 日	秋谷	化学物質ガイドライン	5
12 月 16 日	内沼	災害事例に学ぶヒューマンエラー	5
2025 年2月3日	久富	発達障害	5
3月3日	村上	双極性障害等の就労管理について	6
4月 14 日	藤原	PFOS、PFOA の規制内容と現状について	6
5月		休会	
6月2日	矢崎	つながらない権利	5
7月7日	秋谷	自分の経験と今回の法改正(熱中症)	5

【化局研究会活動報告】

《 事業部会会員 鶴田 光 》

1. 化局研究会設立の目的(化;化学物質、局;局所排気装置の略)

労働安全衛生法の改正により、「新たな化学物質管理規制の導入」が下記の分野において 2023 年4月から始まり、2025 年4月から全面的に施行されています。

- 1) 化学物質管理体系の見直し(リスクアセスメント対象物の事業者責務、労働災害事業場への指示、健康診断等)
- 2) 実施体制の強化(化学物質管理者、保護具着用管理責任者の選任義務及び教育等)
- 3) 特別則対応等(作業環境測定が第3管理区分での改善措置対応等)

このためにコンサルタント支部事業部会での化学物質関連の受託事業の受け皿の確立と拡大を目指すため、次のような研鑽を行う目的で設立しました。**特に、見学会や講習会の予定確保のために、平日の開催で計画しました。**

- 1) 化学物質管理関係の法令内容の理解と具体的な実例における意見交換
- 2) 局所排気装置、プッシュプル型換気装置等のリスク低減措置の実務研修、作業環境測定、保護具等の周辺知識の吸収
- 3) 現場見学会や実務講習会での現場力の向上
- 4) 化学物質管理関係の教育資料を共有化することによる講習会講師育成
- 5) 化学物質管理専門家、作業環境管理専門家としての知識、技能習得並びに正式登録と活動推進

2. 活動記録

2023 年5月 31 日から 2025 年8月6日迄、ほぼ一月に一回の頻度で計 26 回開催してきました。立上げの一年間は、労働衛生(労働衛生コンサルタント(衛生工学)、労働安全コンサルタント (化学))に限定して活動し、二年目からは他の専門分野も含めてメンバーを募集して活動を継続しており、現在 13 名のメンバーが参加しています。主な活動内容は以下の通りです。

(時系列記載及び敬称略)

- A) 関連情報打合せ・・・①CREATE-SIMPLE のリスク見積演算過程紹介、実習用資料紹介と検証及び Ver3.0 による実習内容紹介(鶴田) ②法改正に基づく講習用テキスト改訂内容説明(矢島、鶴田) ③化学物質の長期ばく露による慢性影響と事例紹介(鶴田) ④作業環境測定結果が第3 管理区分での事業場対応(鶴田)
- B) 見学又は研修室での講義及びデモ・・・①保護具関係会社見学及びデモ(3M、アンセル、興研) ②田村工業見学(粉塵、集塵機) ③スイデン製ポータブル送排風機デモ ④興研製 局排・プッシュプル型換気装置見学 ⑤新コスモス電機製個人ばく露濃度計デモ ⑥コベルト溶接テクノにて溶接実習 ⑦ガステック製検知管測定法の実習 ⑧湘南丸ハエスニック製「どこでもドラフト」デモ ⑨ダルトン製局排・実験機器及び関連工場見学(藤枝) ⑩日本原子力開発機構における高速炉、高温ガス炉及び Na 洗浄装置の見学(大洗) ⑪労働安全衛生研究所化学物質情報管理研究センターにおいての化学物質管理の討論会及び見学 (登戸) ⑫日立産機グリーンテックによる排気空調設計についての講義
- C) 専門分野での講義・・・①電磁波について(黒川) ②TDI の危険性(白須) ③AMES 検査(矢島) ④作業環境測定の測定法について・測定機器紹介(秋谷) ⑤日本と米国の安全衛生の違いについて(荻野) ⑥自動車用エンジンとターボチャージャーについて(萩田) ⑦建設業における化学

物質 RA からリスク管理マニュアルについて(水上) ⑧世の中の事故事例から考える安全衛生について(樋口)

- D) その他管理面・・・①化局会データベースのクラウド接続実習(内沼) ②化学物質管理専門家のアピールのための課題検討(秋谷) ③化学物質管理専門家及び作業環境管理専門家の要件と広報への取り組み(秋谷)

【前支部長の吉久功三さんが令和 7 年度 会長功績賞受賞】

この度の会長功績賞の受賞は諸先輩のご指導とコンサルタント会の仲間のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。コンサルタントの資格は定年直前に自分の経験を活かせるということで取り、2011 年に支部に入会しました。しかし、入った当初はコンサルタントとして本当にお金を頂いて仕事ができるようになるのだろうか、と半信半疑でした。事業部に入って研修会や情報交換会で諸先輩の方々にご指導頂きながら少しずつコンサルタントとしての仕事のやり方を教わっていきました。仕事以外に支部の仕事も色々やる中でコンサルタントとしての心構えやお客様への接し方を学びました。そしてコロナ禍の中で支部長を引き受け、大変な時期でしたが、皆様のご協力により何とか乗り切ることができました。事業部会も高齢化してきており、次の世代を担う若手の台頭が待たれるところです。幸い研修会やその後の情報交換会に若い人が多く参加しています。この人たちが早く一人前に活動できるよう微力ながら支援していきたいと思っています。今後共ご指導よろしくお願いいたします。



《神奈川支部会員、事業部会員の皆様へのお願い》

知人・友人・後輩等の中で労働安全衛生コンサルタントの資格を有している方がおられましたら、是非、神奈川支部への入会、支部事業部会への入部の声掛けを、また紹介情報でも結構です。おられましたらご連絡の程、よろしくお願いいたします。

事業部会長 竹内 春樹

《編集後記》

今回の支部ニュース第 51 号は、支部長の挨拶、支部定期総会の開催結果報告、総務委員会・事業部会・研修委員会・見学会・各地区等の活動報告、労働衛生研究会や化局研究会の活動紹介、吉久前支部長の会長功績賞受賞報告等を掲載しました。記事は各執筆者に作成をお願いしました。

今回から支部ニュースは「水上・大塚・久富・黒川(亮)」の 4 名が担当しています。

支部ニュースをよりよくするために、多くの皆様方からのご意見と感想をお待ちしております。

(編集委員一同)